

フ ォ ト グ ラ フ
 Photograph



熊本地震の募金を呼びかけ

(8月10日)

令和8年熊本地震災害義援金の街頭募金が市役所とJAふじ伊豆すそのふれあい市などで行われました。

社会福祉協議会や明るい社会づくり運動裾野地区協議会などが義援金を呼びかけ、市役所を訪れた多くの人が足を止め、温かい支援が寄せられました。皆さんからの義援金は熊本県共同募金会を通して被災者へ届けられます。



道の日に合わせて清掃活動を実施

(8月10日)

「道の日」に合わせ、建設部を中心とした職員が市道や小柄沢公園などで清掃活動を行いました。

手分けして、夏の日差しで伸びた樹木のせん定や草取り、橋の手すりの拭き掃除などを行いました。



富士山資料館を特別に開館

(8月14日～16日)

休館している富士山資料館の特別開館が行われました。夏休み期間の開館で、市内外から多くの人が訪れ、富士山裾野ガイド協会の詳しい解説に耳を傾けながら、富士山周辺に生息する動物のはく製や富士山の成り立ちに関する展示に興味深そうに見学していました。

(広報特派員 杉本 武満、森 健)



この記事の
動画はこちら



戦没者追悼式を開催

(8月15日)

戦没者追悼式が市民文化センターで執り行われました。遺族会会員など153人が出席し、正午のサイレンに合わせて黙とうを捧げました。

式典では市長や市議会議長などが追悼の言葉を述べ、関係者が祭壇で献花を行いました。また、県遺族会の横山さんが戦中戦後について語りました。

(広報特派員 杉本 武満)



東レアローズバレーボールクラブ静岡と 連携協定 (8月19日)

東レアローズバレーボールクラブ静岡とスポーツを通じた地域づくりに関する連携協定を締結しました。

協定書に署名した東レアローズ株式会社代表取締役社長の矢島さんは「スポーツ全体を通じた子どもたちの健全育成に寄与したい」と語りました。今後、プロスポーツチームとの交流を通して、地域振興や子どもたちに笑顔と活力を届ける取り組みが進められます。



親子でいちご栽培の農業体験 (8月22日)

深良地区のいちご農場で農業体験が行われました。9組の親子が参加し、「定植」の作業を行いました。市認定農業者の勝又さんや大塚さんなどの指導のもと、6月に植えて育った苗を選別して大きな鉢に植え替えました。参加した親子は、よく育つ苗の選び方や土の入れ方を教わり「このくらいかな?」と話し合いながら作業を進めていました。



熊本地震被災地に職員を派遣 (8月24日)

令和8年熊本地震に伴う職員派遣の出発式が市役所で行われました。県市長会と県町村会の依頼に基づくもので、第5陣として総務部税務課の小林俊貴主席主査が熊本県宇城市に派遣されました。小林さんは「被災した人に寄り添った支援を心掛けたい」と抱負を語り、村田市長は「日本一市民目線のマインドをもって頑張ってきてほしい」と激励しました。



リノベーションスクールで駅周辺エリアを 再生する事業プラン作成 (8月28日～30日)

リノベーションスクールが市内で行われました。受講生12人が「ユニット」と呼ばれるグループに分かれ、駅周辺の空き店舗などと周辺エリアを再生する事業プランを作成しました。最終日には対象物件のオーナーなどに向け、プレゼンテーションを行いました。

今後は、発表されたプランを参考に新しい動きが広がっていくよう市は伴走・サポートしていきます。